

| | | | | | | | | | | |
|-------|-------|------|--|-----|---|-------|--|------|--|------|
| 指定校番号 | 29007 | 学級活動 | | 児童会 | ○ | クラブ活動 | | 学校行事 | | 小学校用 |
|-------|-------|------|--|-----|---|-------|--|------|--|------|

平成 29 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

| | | | | | |
|-----|-------------|----|-------|--------|-------|
| 学校名 | 廿日市市立大野東小学校 | 校長 | 光廣 敏樹 | 生徒指導主事 | 前田 真一 |
|-----|-------------|----|-------|--------|-------|

| | | | | | | |
|--------------------------------|--|-----------------------|--------------------------------|---------------------------|------------------------------|-----------------------|
| 取組事例名 | 『全校児童による縦割り班活動』 | | | | | |
| 取組のねらい | 『キーワード 思いやり・導き合い』 | | | | | |
| | ○日常的に異年齢集団での関わりの場をもたせることで、「思いやり」「導き合い」などの心情を高めるとともに、縦班を使った集団作りとリーダーの育成を実践する。 ○学級集団の人間関係を離れて、新しい人間関係を作り、学級集団以外の居場所と活躍の場をもたせる。 | | | | | |
| 身に付させたい資質・能力 | | | | | | |
| | ○役割を分担して協力して活動し、相互評価することで、責任感と自己有用感の高まりを目指す。 ○異年齢での教え合いや関わり合いを通して、円滑な人間関係づくりを行う。 ○6年生は、学校のリーダーとしての資質を養う。 | | | | | |
| 取組の具体的内容 | 『キーワード 清掃活動・長縄チャレンジ』 | | | | | |
| | ①各学級20班に分け、同じ組集団で1～6年生混在の異年齢集団を作る。全校で80班を作る。班編成に於いては各児童の実態を考慮して担任が行い、組集団の担任で調整する。 ②校内の掃除場所を80ヶ所に分け、2ヶ月周期で担当場所を換えながら、日常的に掃除を行う。掃除後は班長を中心に反省会を行い、振り返りと、その日に頑張った児童をMVPとして選出する。掃除場所交代時にMVP表彰を朝会で行う。 ③縦班活動の一環として長縄チャレンジ大会を企画し、班ごとに練習、記録挑戦を行う。(冬期) ④縦班掃除の最終日に、6年生へ班員が感謝のメッセージカードを作って送る。 | | | | | |
| 取組の課題・創意工夫 | 『キーワード 多人数円滑な活動を目指して』 | | | | | |
| | ○児童数が約800人のために班の数が80班と多く、職員が複数班を担当することとなる。自主的に活動が行えるように、掃除担当場所が代わる際には、各場所でオリエンテーションを行った。 ○6学年担任を中心に、異年齢集団のリーダーとしての意識付けを常に行った。(6年生) ○長縄チャレンジは、全部の班で一度に行うことは難しいので、日にちをずらし、各組集団別に行った。 | | | | | |
| 取組の成果(効果) | 『キーワード 明確な役割と有用感』 | | | | | |
| | ○6年生には班長としての自覚と責任が育ち、下の学年を思いやる気持ちや、しっかりと掃除をやり遂げようとする態度が見られた。上の学年が下の学年に教えたり、手伝ったりし、また、下の学年も頼ったりしながら、相互に関わり合いながら活動する姿が見られた。自分の役割が明らかであることから責任感が生まれ、異年齢の子どもたちの関わり合いの中でやり遂げ、評価されることを続けていく中で、自己有用感の高まりにつながった。 | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>学校評価アンケート結果 (1学期→2学期)</td> </tr> <tr> <td>・みんなのためになることを進んで行う・・・85.8%→86%</td> </tr> <tr> <td>・自分にはよいところがある・・・82.8%→81%</td> </tr> <tr> <td>・自分のよさは周りから認められている・・・69%→73%</td> </tr> <tr> <td>・黙って掃除をする・・・91.3%→92%</td> </tr> </table> | 学校評価アンケート結果 (1学期→2学期) | ・みんなのためになることを進んで行う・・・85.8%→86% | ・自分にはよいところがある・・・82.8%→81% | ・自分のよさは周りから認められている・・・69%→73% | ・黙って掃除をする・・・91.3%→92% |
| 学校評価アンケート結果 (1学期→2学期) | | | | | | |
| ・みんなのためになることを進んで行う・・・85.8%→86% | | | | | | |
| ・自分にはよいところがある・・・82.8%→81% | | | | | | |
| ・自分のよさは周りから認められている・・・69%→73% | | | | | | |
| ・黙って掃除をする・・・91.3%→92% | | | | | | |



役割を意識した掃除



相互評価による認め合い



異学年での教え合い

今後の展開『キーワード 日常的な活動』

○日常的な取組が掃除活動に限定されたので、学校行事や児童会活動の場面で、縦班を生かした取組を計画・実践していく。

他校へのアドバイス『キーワード リーダーの育成』

○6年生の班長としての自覚とやる気をいかに高めていくか、それをサポートする5年生との関係をどのようにつくるかが、班全体の雰囲気や活動の様子に関わってくると考えられる。